

総会議案書



草集め

日時 平成 30 年 5 月 10 日
場所 市役所

富田林の自然を守る市民運動協議会

総会次第

開会あいさつ
会長あいさつ
富田林市あいさつ

議事

第1号議案	平成29年度	事業報告
第2号議案	平成29年度	決算報告
第3号議案	平成29年度	会計監査報告
第4号議案	平成30年度	事業計画（案）
第5号議案	平成30年度	予算（案）
第6号議案	平成30年度	役員（案）

第 1 号議案 平成 29 年度（2017 年度）事業報告

I. 2017 年度の活動の概要

1. 自然環境保全活動（生態系保全、生物多様性保全）

(1) 里山保全活動

- ①雑木林の林床管理（下樵りを中心に）
- ②人工林（スギ・ヒノキ林）の管理（間伐・枝打ちなど）
- ③竹林管理（雑木林および人工林に侵入したタケの除伐、竹林としての管理）
- ④作業路（観察路）造り
- ⑤草地管理（放棄田とその畦、溜池の土手などの草刈り）
- ⑥水生生物の保護と育成（水の生き物池の管理）

(2) 河岸段丘崖の竹林整備

中野町の竹林管理

2. 文化的行事（自然とのふれあい、自然に親しむ、自然への理解を深める活動）

- ①米作り体験（田植え、稲刈り、稲こぎ）
- ②春の野草を食べる
- ③シイタケの植菌
- ④里山クラフト（蔓細工）
- ⑤どんどこもちつき
- ⑥自然観察（植物、昆虫、野鳥、水生生物）

3. 自然観察・調査研究・政策提言活動など

- ①自然観察会（上記の文化的活動と共通）
- ②自然環境保全活用調査（以後：活用調査）
- ③「富田林の自然」誌 No. 16 の発行
- ④生物多様性に関する取り組み

4. 協議会参加団体の活動への支援・援助

これら当協議会（以後：協議会）の多くの事業は富田林の自然を守る会（以後：守る会）と一体的に取り組まれた。

5. 協議会と守る会の活動のまとめ

6. 協議会参加団体の活動

7. 2017 年度の活動などで特徴的だったこと

II. 具体的な活動

1. 自然環境保全活動（生態系保全活動）

(1) 里山保全活動

①協議会の活動（表 1）

- 里山ホリデー：おおむね月 1 回、土曜日または日曜日に上記の里山保全活動を行なった。
- 里山保全作業と交流会：12 月 17 日（日）に午前は里山保全作業を行ない、午後は交流会を行なった。
- 自然観察路の整備：嶽の会が主体となって取組まれた。人工林に新たに観察路（作業路）を造

成した。

表1 里山保全活動

行事名	開催日時					参加人数			作業内容	備考
	年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
里山ホリデー	2017	4	2	日	10:00～15:00	5	0	5	・イノシシ柵の整備	内NICE8人、他に水利組合5人、初芝校2人、総計26人
里山ホリデー	2017	5	21	日	10:00～15:00	26	0	26	・溜池周辺の草刈	
里山ホリデー	2017	7	23	日	10:00～15:00	25	1	26	・中野町伐採木の運搬 ・水田の草の処理 ・流しソーメン(昼食)	内NICE16人
里山作業と交流会	2017	12	17	日	10:00～15:00	25	2	27	・コナラの倒木処理・イノシシ柵作り・間伐材運搬・交流会	内NICE7人
観察路整備	2018	2	4	日	10:00～15:00	10	2	12	・観察路造成(内田林)	嶽の会が主体で取り組む
里山ホリデー	2018	2	11	日	10:00～15:00	15	0	15	・伐採木の処理	内NICE8人
里山ホリデー	2018	3	11	日	10:00～15:00	18	2	20	・椎茸の植菌	他に香港ワークキャンプ
参加人数合計						124	7	131		



薪づくり

②守る会の活動

○里山保全作業：毎月第一金曜日に里山保全活動を行なった。この行事には大阪シニア自然カレッジ里山部会の人たちが多数参加した。

③守る会と NPO 法人日本国際ワークセンター（以後、NICE と略す）との共催事業

- 国際ワークキャンプ
- 週末ワークキャンプ
- 国際週末ワークキャンプ

④守る会が外部団体を受け入れて実施した事業

- 公益社団法人大阪自然環境保全協会（以後、保全協会と略す）主催の自然環境市民大学（以後、市民大学と略す）
- その他受け入れた講座など

これらの活動はすべて奥の谷の里山で実施した。

(2) 石川河岸段丘（中野町）の竹林整備（表2）

2016 年度に引き続き、竹の伐採、チップパーによる竹のチップ化、東側法面および西側平坦地の草刈りなどを行なった。法面および近隣の民家にの近くにあった大径木を地権者から業者に依頼して伐採した（民家に隣接していた大径木 4 本、法面の大径木 15 本）。伐採木の処理は協議会および守る会の行事で行なっている。また、流しソーメンなど子どもたちが楽しめる行事も実施した。この事業は協議会主催の行事に加えて、自然を守る会主催でも実施した。また、2017 年 12 月 13 日（水）には新堂小学校 6 年生のボランティア授業を受け入れた。

表2 中野町竹林整備

行事名	開催日時					参加人数			作業内容	備考
	年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
中野町竹林整備	2017	4	23	日	10:00～12:00	14	2	16	・タケノコ掘り・竹の伐採	
中野町竹林整備	2017	5	28	日	9:30～12:00	5	0	5	・チップパー作業・伐採木処理	
中野町竹林整備	2017	6	25	日	—	—	—	—	雨天中止	
中野町竹林整備	2017	7	1	土	9:30～12:00	5	0	5	雨天中止・有志で作業	
中野町竹林整備	2017	8	6	日	9:30～12:00	14	12	26	・水鉄砲・流しソーメン	
中野町竹林整備	2017	9	24	日	9:30～12:00	7	0	7	・チップパー作業・竹の伐採・草刈り	
中野町竹林整備	2017	10	7	土	9:30～12:00	5	0	5	・竹の伐採	
中野町竹林整備	2017	11	12	日	9:30～12:00	5	0	5		
中野町竹林整備	2017	12	3	日	9:30～12:00	7	0	7	・竹の伐採・竹の運搬	
中野町竹林整備	2018	1	7	日	9:30～12:00	5	0	5	・竹の伐採	
中野町竹林整備	2018	2	3	土	9:30～12:00	7	0	7	・竹の伐採・チップパー作業	
中野町竹林整備	2018	3	25	日	9:30～12:00	8	0	8	・竹の伐採・チップパー作業	
参加者数合計						82	14	96		



中野町の竹林
(新堂小のボランティア授業)

2. 文化的活動（自然とふれあい、自然に親しむ活動、自然への理解を深める活動）

(1) 米作り体験（表3）

奥の谷の水田（約 300m²）を借地し、米作りを実施。協議会の行事としては①田植え、②稲刈り、③稲こぎ（脱穀）を行なった。水田の耕耘等田植えの準備、水の管理などは守る会が行った。

表3 米作り体験										
行事名	開催日時					参加人数			内容	備考
	年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
田植え	2017	6	10	土	10:00～16:00	33	19	52	手植え	
稲刈り	2017	10	14	土	10:00～16:00	18	3	21	ノコギリ鎌、はぜかけ	
稲こぎ	2017	11	4	土	10:00～16:00	23	10	33	足踏み脱穀機、篩、唐箕	内NICE8人
参加者数合計						74	32	106		



稲刈り

(2) 春の野草を食べる会 (表 4)

奥の谷の野草を摘んで調理して食べた。メニューはヨモギ団、ヨメナご飯、野草のおひたし(セリ、ヨメナ、ツリガネニンジンなど)、ノビルぬた、タケノコ木の芽和え、各種野草の天ぷらなどであった。この行事は毎年大変好評で、老若男女 71 人が参加。にぎやかで楽しい催しであった。

(3) シイタケ植菌 (表 4)

2 月の里山ホリデーで、コナラの大径木 1 本を伐採し、椎茸の植菌を行った(植菌作業は 3 月 11 日の里山ホリデーで実施)。栽培した椎茸は様々の行事での食事に利用している(椎茸は植菌 1 年半後からの収穫となる)。

(4) 里山クラフト(蔓細工を中心に) (表 4)

11 月 23 日(祝)に佐々木氏を講師に実施した。午前中は山に入りフジ、アケビ、アオツヅラフジなどの蔓を採取し、午後はそれを用いて籠やリース作りを行った。

(5) どんとともちつき (表 4)

1 月 14 日(日)に実施した。最初に書初めを行い、続いてどんと焼きを行った。そのあともちつきを行った。きな粉もち、あんこ餅、雑煮などを作り、みんなで楽しく食べた。どんどの準備は前日の NICE 週末ワークキャンプで行った。

表4 その他の文化的活動(シイタケ植菌は里山保全活動に記載)										
行事名	開催日時					参加人数			内容	備考
	年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
春の野草を食べる会	2017	4	29	土	10:00～16:00	54	17	71	ヨモギ団子、ヨメナご飯、タケノコご飯、セリのおひたし、各種でんぷらなど	
里山クラフト	2017	11	23	木	10:00～16:00	10	3	13	蔓植物の採取、つる細工	
どんとともちつき	2018	1	14	日	10:00～16:00	89	28	117	書き初め、どんと焼、もちつき	内NICE27人、一歩の会20人
参加者数合計						153	48	201		



もちつき

3. 自然観察・調査研究・政策提言活動など

(1) 自然観察(植物、昆虫、野鳥) (表 5)

①植物観察会

奥の谷の農道や観察路を歩いて、開花または結実している草本類、木本類を中心に観察した。9 月には金胎寺山で実施した。これは当会初のコースであった。

②昆虫ウォッチング

7 月 15 日(土)に実施した。午後 3 時に集合し、昼間はトンボやチョウを捕りながら山野を歩き、ベイトトラップ(バナナ)を樹木などに仕掛けた。その後嶽山の昆虫標本(守る会所蔵)を観察した。夕食後山裾に設置したライトトラップを点灯した。日没後、樹液にきている昆虫やバナナトラップにきている昆虫を観察しながら真っ暗な山中を懐中電灯を頼りに歩いた。

③野鳥観察会

2 月 18 日(日)、上村賢氏(日本野鳥の会)に講師を依頼し錦織公園で実施した。

④水の生き物観察会

6 月 18 日(日)、水の生き物池で子どもたちを中心に水の生き物捕りを実施した。

(2) 自然環境保全活用調査

富田林市が里山倶楽部に委託した調査に、協議会が協力して調査に参加した。主として文献調査による富田林の昆虫リストの作成であったが、補足調査として東板持地区で植物および昆虫の

調査を実施した。活用調査その 16 として次のような内容の報告書が作成された。

1. 生物多様性保全のための基礎調査

(1) 富田林の昆虫についての文献調査（富田林市の昆虫目録）

(2) 生物多様性保全の取組みについて〔①調査結果のまとめ、②富田林の昆虫について生物多様性保全の視点からの提案〕

2. 補足現地調査〔東板持地区（保全配慮地区）〕

表5 自然観察・調査活動

行事名	開催日時					参加人数			観察した生き物	備考
	年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
植物観察会	2017	4	9	日	—	—	—	—	—	雨天中止
植物観察会	2017	6	3	土	9:00～13:00	6	0	6		奥の谷内NICE4人
水の生き物観察会	2017	6	11	日	9:00～13:00	15	25	40		奥の谷
自然環境活用調査(補足調査)	2017	7	3		10:00～14:00	3	0	3	・昆虫・植物	東板持
昆虫観察会	2017	7	15	土	15:00～21:00	23	24	47	・ネッティング・ライトトラップ・バナナトラップ	奥の谷
植物観察会	2017	9	23	土	9:00～13:00	10	0	10	草本(開花):56種,木本:32種	金胎寺山
植物観察会	2017	10	8	日	9:00～13:00	13	3	16	草本(開花):53種	奥の谷
野鳥観察会	2018	2	18	日	9:00～13:00	4	0	4		錦織公園
参加人数合計						74	52	126		



植物観察会

(3) その他の調査活動（主として守る会）

①モニ 1000 里地調査

モニ 1000 里地調査は環境省が日本自然保護協会（以後 NACS-J と略す）に委託して実施している調査で、守る会は植物およびチョウの調査を奥の谷で行なっている。調査担当者は主として市民大学 OB の人たちである。

②南原（みなんばら）の植生調査

守る会は南原でルートセンサスおよび畦に設置したコドラートについての植生調査を実施している。調査担当者は主として市民大学 OB の人たちである。

③錦織公園の植生調査

守る会は保全協会の都市公園自然調査研究会が行なう錦織公園での調査に協力した。ここでの調査はルートセンサスにより植生調査を中心に昆虫、野鳥についても調査した。

④その他 調査への協力

このほか、守る会は大府立大学学院生のホタル調査およびフクロウ調査、京都大学学院生のアカガエル調査に協力した。

(4) 冊子「富田林の自然」No. 16 の発行

発行準備中

(5) 生物多様性保全に関する取り組み

富田林市緑の基本計画の改定に向けての議論の中で、富田林における生物多様性の保全の必要性について昨年度に引き続き議論を重ねた。

4. 自然保護活動への支援・援助

(1) 国際ワークキャンプ（表 6）

「国際ワークキャンプ大阪富田林 2017」が NICE と守る会の共催で 8 月 31 日（木）～9 月 14 日（木）の間、奥の谷で実施された（今回から太子町葉室里山クラブの協力はなくなった）。①人工林の間伐、②竹林の整備（中野町）、③竹林整備（奥の谷）、④観察路整備（階段づくり）を実施した。9 月 2 日（土）に歓迎会が行われ、富田林市から産業環境部長、みどり環境課長、みどり公園係長および担当職員が来賓として参加、市長からのメッセージが紹介された。キャンパーは外国人 3 人（イタリア 2 人、アメリカ）、日本人 4 人が参加、奥の谷のミカン小屋に宿泊した。ワーク以外にはスライドショー（里山保全と生物多様性、奥の谷の四季）、ディスカッション（各国の環境問題）、クラフトづくり（竹細工など）、着付け、じないまち見学、お花、習字、ホームステイを行った。スタッフを含め地元などから延べ 155 人が参加した。国際ワークキャンプには協議会から 88,065 円

の財政支援を行った。

表6 国際ワークキャンプ大阪富田林2017

月日	曜日	午前	午後	夜	参加者数			
					キャンパー	地元	子供	計
8月31日	木		13:00滝谷不動駅集合、小屋生活に関するオリエンテーションなど		7	8	0	15
9月1日	金	プレゼン「生物多様性と里山保全」&「奥の谷の四季」	ワークのオリエンテーション作業のデモンストレーション		7	8	0	15
2	土	ワーク①(9:00～12:30)		歓迎会(17:00～19:00)	7	35	7	49
3	日	ワーク①(9:00～12:30)	習字・お茶		7	13	0	20
4	月	ワーク①(9:00～12:30)		ホームステイ(16時～)	7	7	0	14
5	火	フリーデー		21時に滝谷不動駅に集合	7	2	0	9
6	水	ワーク②(9:00～12:30)	(流しそうめん昼食)		7	4	0	11
7	木	ワーク②(9:00～12:30)	着物着付け・寺内町見学		7	11	0	18
8	金	フリーデー			7	2	0	9
9	土	ワーク③(9:00～12:30)	ディスカッション(14:00～16:00)		7	12	0	19
10	日	ワーク③(9:00～12:30)	お花	ホームステイ(16時～)	7	9	0	16
11	月	フリーデー		21時に滝谷不動駅に集合	7	2	0	9
12	火	クラブト			7	6	0	13
13	水	ワーク④(9:00～12:30)	さようなら会準備	さようなら会(18:00～20:00; キャンパー主催)	7	16	3	26
14	木	片付け、総括	昼食後解散		7	10	0	17
参加者数合計					105	145	10	260

ワーク①: 人工林の間伐、ワーク②: 竹林整備(中野町)、ワーク③: 竹林整備(奥の谷)、ワーク④: 観察路整備(階段づくり)



歓迎会



観察路づくり

上記、国際ワークキャンプのほか守る会を中心に協議会参加団体に支援・援助を行った。

5. 協議会と守る会の活動のまとめ(表7)

協議会と守る会の事業の多くは一体的に取り組まれており、それらの活動には2017年度の1年間で延べ2297人(大人2084人、子ども213人)が参加した。

表7 協議会及び守る会の活動活動のまとめ

	行 事 名	参加者数		
		大人	子ども	合計
協議会活動	里山保全活動 7回	124	7	131
	米作り体験 3回	74	32	106
	文化行事 3回	153	48	201
	自然観察会・調査 8回	74	52	126
	中野町竹林整備 12回	82	14	96
守る会及び他団体との共催・協力・受け入れ活動	中野町竹林整備 3回	26	0	26
	里山保全活動 11回	139	0	139
	竹炭焼 5回	28	0	28
	草地管理 5回	48	0	48
	畑づくり(南原) 23回	118	0	118
	ニホンミツバチの飼育(約3回)参加者数は概数	15	0	15
	調査(モニ1000、南原、錦織公園) 25回	110	0	110
	国際ワークキャンプ(NICE) 1回(15日)	250	10	260
	国際週末ワークキャンプ(NICE) 1回(4日)	98	0	98
	週末ワークキャンプなど(NICE) 9回(18日)	416	0	416
	受け入れた講座 4講座(12日)	143	0	143
	他団体受け入れ行事など 16団体(16日)	186	50	236
	参加者数合計	2,084	213	2,297

6. 協議会参加団体の活動

(1) 金剛の自然環境を守り育てる会

今年度も寺池台小学校5年生といっしょに米作り体験をしました。天候不順に振り回されて子どもたちは田植えと草取り作業しかできなかったのは残念でした。その代わり父親参観の日に切れ目を入れた竹筒で脱穀をし、すり鉢でもみすりをして玄米を作り出しました。良い経験になったと思います。3月にはお米パーティーに招待されいっしょにおに



ぎりを食べました。子どもたちは美味しい美味しいとおかわりの列に並んでいました。

(2) 特定非営利活動法人 里山倶楽部

里山倶楽部は、「新しい“里山的” 生き方・暮らし方 の提案」をコンセプトとして、里山の保全管理や環境教育に関するさまざまな事業を行なっています。会員は約 150 名。活動グループのひとつ「とんびくらぶ」では、龍泉寺近くの果樹園で里山初心者が楽しみながら草刈りなどの手入れや果物の収穫などを行なっています。

＜講座および自由参加活動＞

- 里山ボランティアの日（里山体験） ●里山日和（里山体験）
- キッズクラブ事業部（子供対象） ●もりあん（技術講習）
- 弘川千年の森（協働事業） ●とんびくらぶ（山仕事体験）
- 里山と暮らす応援講座（里山実習） ●源流米パラダイス（棚田の保全活動）
- スモールファーム自給塾（農業研修）

＜生産販売事業＞

- 里山事業部（森林作業請負、炭・薪等の生産販売）
- 里山倶楽部自然農場（無農薬米、野菜等の生産販売）

＜まちづくり・調査研究活動＞

- 里山バイオマスエネルギー事業部（薪炭林のエネルギー化研究）
- 里山環境教育オフィス（企業・行政との協働事業、ワークショップ等の受託事業）

連絡先：寺川裕子、〒584-0024 富田林市若松町 4-20-6, TEL 072-333-0309



(3) 石川自然クラブ

石川自然クラブは、石川の自然について学び、考え、調べ、遊び、行動することを通じて、石川本来の川の流れや河原の自然環境をとりもどし、地域の暮らしと共生する自然豊かな川づくりを行なうことをめざして、以下のような活動を行っています。

石川の自然や生きものについての学習・観察・調査

子どもたちが石川の自然を体験できる機会の提供

石川の自然についてのPR活動

石川の自然にふさわしい整備や管理についての共生型技術の検討・提案

地域の人たちや市民団体、行政や専門家との協働の場づくり

石川流域におけるネットワーク活動

毎月一回、第二木曜日に、石川に生息する希少な生きものを守る「自然ボランティア」活動、各季節に植物・魚・昆虫・動物・野鳥の自然観察会も実施しています。また、「石川自然公園自然ゾーン計画運営協議会」や「南河内ほわ〜っと流域ネットワーク」では、行政や地元町会と協働して石川の自然についての様々な取り組みを行っています。

連絡先：寺川裕子、〒584-0024 富田林市若松町 4-20-6, TEL 072-333-0309



(4) 嶽の会

2018年2月4日。午前10時から8名（労山3名、守る会から5名）の参加で、今回は補修ではなく、新たに観察路を整備しました。

午前中は主に杭・階段の横木づくりです。杭に太すぎる木は最初に半分に割って、チェーンソーで先をとがらせませす。昼食後はいよいよ道づくり。現場までは距離があり、そこまで材料を運ぶのが一苦労でしたが、なんとか距離にして7m、10段の観察路が完成しました。

最後はその階段に座って記念写真。お疲れ様でした。

昼食は豚と野菜たっぷりの湯豆腐。たき火を囲んで楽しく食事・交流もできました。



(5) 竜泉・里山クラブ

ミカン作業の手伝い、竹炭・燻炭・竹酢液作り、竹林間伐、工作教室など毎年行う活動を行いました。例年の活動に加えて来年は発足20年目に当たるのを契機に、仲間の高齢化や設備・器具の老朽化などの当面の課題を解決するための取り組みを始めました。

まず、

①新会員を増やし里山作業の継承者を育てる。

入会者4名と現在員を含めて竹炭、燻炭、竹酢液作りなどの作業訓練を行いました。

②活動費に充当するための芋類などを栽培する。

薩摩芋・里芋・干し柿を作り地域の祭りで販売を試みました（地権者の認可のもと）。

③ニホンミツバチの飼育に取り組む。

蜜源として花・木を基地敷地内及び付近に計画的な環境作りを進める。3年計画の初年度としてミツバチチーム*に参加して養蜂の基礎を学びました（*：富田林の自然を守る会の活動班の一つ）。

ひと昔前の里山は、農家の畑の片隅や裏山のはずれなどにミツバチの巣箱が置いてあり、辺には1年中花が咲いていた記憶があります。こんな姿を再現するのが夢です。



(6) 富田林の自然を守る会

協議会参加団体の内「守る会」の活動については協議会の活動と一体的な部分が多い。守る会として独自に取り組んだこと、あるいは他団体との共催事業や他団体の講座・行事などを受けいれて取り組んだ（表7参照）。

7. 2017年度の活動などで特徴的だったこと

- (1) 男性用トイレが立派に改修された。
- (2) 古墳への観察路の階段が再生され、その周辺の間伐および林床整備が行われた。
（フユイチゴの坂：市民大学15期生1班）
- (3) みかん小屋の前の人工林の観察路に見事な土止めができた。
（水分りの径（みくまりのこみち）：市民大学15期生2班）
- (4) (3)の観察路のさらに奥に右（北方向）に登る観察路を新設した。
（嶽の会を中心とした協議会の観察路整備行事）
- (5) 中野町竹林内にチップー収納用の小屋を設置した。
- (6) 中野町竹林の民家近くおよび法面の大径木を（地権者が）伐採した。
- (7) ミツバチ（ニホンミツバチ）班が立ちあがった。
- (8) 奥の谷のみかん小屋前の人工林の南西の法面が大きく崩壊した。
- (9) ナラ枯れが奥の谷全体に広がった。

8. 会議

(1) 役員会

2017年4月21日（金）、5月9日（火）、6月16日（金）、7月21日（金）、10月20日（金）、12月15日（金）、2018年3月16日（金）

(2) 会計監査 2018年4月27日（金）

(3) 総会 2018年5月10日（木）

第2号議案 2017年度（平成29年度）会計決算報告

歳 入

項 目	予算	実績	増減(実績-予算)	備考
補助金	270,000	270,000	0	
行事参加費	130,000	116,700	-13,300	
内訳 里山ホリデー		26,700		
自然観察会		19,200		
米作り体験		21,600		
文化的行事		49,200		
寄付金	350,000	475,888	125,888	
内訳 「富田林の自然」誌		3,600		
N I C E		27,000		
富田林の自然を守る会より		445,288		
雑収入	0	0	0	
繰越金	0	0	0	
総 計	750,000	862,588	112,588	

歳 出

項 目	予算	実績	増減(実績-予算)	備考
報償費	30,000	15,000	-15,000	
消耗品費	100,000	207,141	107,141	
内訳 事務費	—	3,272	—	
保全活動費	—	163,071	—	
その他	—	40,798	—	
燃料費	100,000	83,913	-16,087	
内訳 軽トラ燃料費	—	30,807	—	
作業機械燃料費	—	20,423	—	
発電機燃料費	—	31,103	—	
その他	—	1,580	—	
郵送費	20,000	10,934	-9,066	
賄い材料費	40,000	60,648	20,648	
使用料及び賃借料	30,000	30,000	0	
備品購入費	10,000	150,942	140,942	
修理費	200,000	136,816	-63,184	
施設管理費	30,000	7,767	-22,233	
保険料	70,000	71,362	1,362	
国際ワークキャンプ費	100,000	88,065	-11,935	
雑費	20,000	0	-20,000	
総 計	750,000	862,588	112,588	

次年度への繰り越し金： 0 円

市助成金（270,000円）対象分		
報償費	里山クラフト講師謝礼、野鳥観察会講師謝礼	15,000
消耗品費	事務費、保全活動費	166,343
燃料費	作業機械燃料費	20,423
修理費	チップパー、軽トラ、給水タンク、電動工具	136,816
国際ワークキャンプ費		88,065
合 計		426,647

第3号議案 監 査 報 告 書

平成30年 4月27日

富田林の自然を守る市民運動協議会
会長 田淵 武夫 様

会計監事 富田林の自然を守る市民運動協議会
理事 喜田 光子 

富田林の自然を守る市民運動協議会規約第6条に基づき、平成29年度会計に関する監査を
下記のとおり実施したところ、次のとおりであったので報告します。

1. 実施日時 平成30年 4月27日 (金) 13:00 ~ 14:30

2. 実施場所 富田林市役所 産業環境部 みどり環境課

3. 監査結果

事 項	意 見	指 摘 事 項	備 考
事 業 等 の 実 施 状 況	問題なし	特になし	
会計事務の状況	問題なし	特になし	
そ の 他	特になし	特になし	
総 括		適 正 ・ 概ね適正 ・ 不適正	

第4号議案 平成30年度（2018年度）事業計画（案）

1. 自然環境保全活動

(1) 里山保全活動

「里山ホリデー」と称して里山保全の作業を下記の日程で行う。作業の内容は、雑木林の下樵り、竹林整備と竹林の拡大防止、人工林の管理（間伐、枝打ち、伐倒木の皮むきなど）、休耕田・放棄田・溜池の土手などの草刈り、果樹の手入れ、自然観察路（作業路）造成・整備などとする。場所は奥の谷および南原とその周辺で、時間は原則として毎回10:00～15:00頃とする。

日程：2018年4月15日（日）、5月20日（日）、7月22日（日）、2019年2月10日（日）、3月10日（日）。

(2) 里山作業と交流会

午前は里山保全作業を行い、午後は交流会とする。

日時：2018年12月16日（日） 10:00～15:00頃。

場所：奥の谷

(3) 中野町竹林管理

中野町の河岸段丘および段丘崖の竹林を整備し、生物多様性を向上させるとともに地域の憩いの場所として活用することを目指す。下記の日程で作業を行う。作業は竹の伐採、チップー作業、伐採木野処理、草刈りなどである。また、適宜子供を対象とした竹で遊ぶ会などを行う。時間は原則として毎回9:30～12:00とする。

日程：2018年4月1日（日）、4月21日（土）、5月13日（日）、6月24日（日）、7月8日（日）、8月5日（日）、9月24日（月）、10月28日（日）、11月11日（日）、12月2日（日）、12月9日（日）、2019年1月6日（日）、1月19日（土）、2月2日（土）、2月24日（日）、3月2日（土）、3月24日（日）

2. 文化的行事

(1) 米作り体験

借地している奥の谷の水田で有機栽培による米作りを行う。収穫した米は原則として各種行事に使用する。

① 田植え

日時：6月9日（土）10:00～15:00頃（予備日：10日）。

② 稲刈り

日時：10月13日（土）10:00～15:00頃（予備日14日）。

③ 稲こぎ

日時：11月3日（土）10:00～15:00頃（予備日4日）。

(2) 春の野草を食べる会

日時：4月29日（日；昭和の日）10:00～15:00頃。

場所：奥の谷。

(3) 里山クラフト

日時：11月23日（金；勤労感謝の日）10:00～15:00頃。

場所：奥の谷。

(4) どんどこもちつき

日時：1月13日（日）10:00～15:00頃。

場所：奥の谷。

3. 自然観察・調査研究・提言活動

(1) 自然観察

①植物観察会

下記の日程でおこなう。原則として奥の谷を中心として実施するが、適宜地域を変更する。
また、内容についても検討する。

日程:4月8日(日)、6月16日(土)、9月22日(土)、10月7日(日)。

②昆虫観察会

子どもを中心に、ネットによる自由採集、バナナによるベイトトラップ、ライトトラップ、夜間ルート観察などを行う。

日時:7月21日(土) 15:00~21:00 頃。

場所:奥の谷。

③野鳥観察会

日時:2月17日(日) 9:00~13:00 頃。

場所:毎年錦織公園で実施してきたが、今年度は奥の谷周辺での実施を検討する。

④水の生き物観察会

「水の生き物池」で水生生物を採集・観察する。

日時:6月17日(日) 10:00~13:00 頃

場所:奥の谷。

(2) 自然環境保全活用調査 その17

富田林市が里山倶楽部に委託して行う調査に積極的に協力する。

(3) 冊子「富田林の自然」No.17の発行

「富田林の生き物、自然景観、保全活動などを写真で紹介」、「専門家による自然保護に関する解説」、「富田林の生物調査などの紹介」、「自然環境保全活用調査の抜粋」、「協議会参加団体の活動紹介」、「協議会の活動報告」などを内容とする冊子を3月に発行する。

(4) 生物多様性保全の取り組み

「富田林市みどりの基本計画」の改定に向けて、生物多様性保全の施策を位置づけるべく、これまで市が実施してきた調査なども活用し議論を進める。

里山保全活動などで発生する間伐材や竹材を木質バイオマスとしての活用を検討する。また、今後の自然保護活動の担い手の養成を視野に、生物多様性保全を中心とした講座の開催、地域の自然にかかわる団体などとの連携などについて検討する。

4. 自然保護活動への支援・援助

(1) 国際ワークキャンプ

「国際ワークキャンプ大阪富田林2018」が富田林の自然を守る会とNICEの共催で8月30日~9月13日の日程で開催される予定となっている。この取り組みへの助成をはじめ協力・支援を行う。

(2) 協議会加入団体への支援

当協議会加入団体への支援・援助を行う。

5. 会議

(1) 役員会

原則として8月を除く毎月第3金曜日の10時~12時に市役所において開催する。

(2) 総会

2019年5月に市役所で開催する。

第5号議案 平成30年度（2018年度）予算案

歳 入

項 目	予 算	前年度予算	前年度実績	増減 (予算-前年度予算)	備考
補助金	270,000	270,000	270,000	0	
行事参加費	110,000	130,000	116,700	-20,000	
寄付金	400,000	350,000	475,888	50,000	自然を守る会から30万円を予定
雑収入	0	0	0	0	
繰越金	0	0	0	0	
総 計	780,000	750,000	862,588	30,000	

歳出

項 目	予 算	前年度予算	前年度実績	増減(予算- 前年度予算)	備考
報償費	30,000	30,000	15,000	0	
消耗品費	200,000	100,000	207,141	100,000	
郵送費	10,000	20,000	10,934	-10,000	
燃料費	80,000	100,000	83,913	-20,000	
賄い材料費	50,000	40,000	60,648	10,000	
備品購入費	30,000	10,000	150,942	20,000	
修理費	150,000	200,000	136,816	-50,000	
施設管理費	10,000	30,000	7,767	-20,000	
使用料及び賃借料	30,000	30,000	30,000	0	
保険料	70,000	70,000	71,362	0	
国際ワークキャンプ費	100,000	100,000	88,065	0	
雑費	20,000	20,000	0	0	
総 計	780,000	750,000	862,588	30,000	

第 6 号議案

富田林の自然を守る市民運動協議会 平成 30 年度役員(案)

役員名	氏 名	団 体 名
会 長	田淵 武夫	富田林の自然を守る会
副会長	笠原 英俊	石川自然クラブ
会 計	上角 敦彦	嶽の会
会計監査	喜田光子	金剛の自然環境を守り育てる会
理 事	寺川 裕子	NPO法人里山倶楽部

団 体 名	郵便番号	連 絡 先	電話番号
富田林の自然を守る会	584-0024	若松町四丁目 1 6 番 2 1 号	090-8888-3912
竜泉里山クラブ(代表:中島正博)	586-0094	河内長野市小山田町 3079-8	090-7118-2517
里山倶楽部	584-0024	若松町四丁目 2 0 番 6 号	0721-25-3128
石川自然クラブ	584-0086	津々山台一丁目 5 番 1 号	0721-29-7894
嶽の会	584-0024	若松町四丁目 6 番 29 号	0721-24-8757
金剛の自然環境を守り育てる会	584-0073	寺池台三丁目 15 番 10 号	0721-28-4737

※緊急連絡先 田淵会長 携帯電話 090-8888-3912

オブザーバー参加 日本国際ワークキャンプセンター関西事務局

事務局	産業環境部	杉分 英夫	部長
	みどり環境課	泰中 俊明	課長
		浅尾 覚	課長代理
	みどり公園係	佐藤 修	係長
		西田 圭祐	副主任
		山口 はるか	係員
		北野 紗弥香	係員

〒584-8511 富田林市常盤町 1 番 1 号 富田林市役所
 電話 0721-25-1000 内線 431 FAX0721-25-9980
 E メール midorikankyo@city.tondabayashi.osaka.jp